

---

# 増殖脳内人間

walkmachine

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

増殖脳内人間

### 【Nコード】

N2309L

### 【作者名】

walkmachine

### 【あらすじ】

転載シリーズ。

超短編。

狂ってる……程ではないけど、苦手な方注意です。

誰かに見てほしい。

そんな気持ちで絵を描く人。

誰かに聞いてほしい。

そんな気持ちで歌を歌う人。

誰かに読んでほしい。

そんな気持ちで小説を書く人。

そんな自己主張から創作をする人と。

楽しいから。

そんな気持ちで絵を描く人。

楽しいから。

そんな気持ちで歌を歌う人。

楽しいから。

そんな気持ちで小説を書く人。

どちらが勝っているかなんて比較すべき問題ですら無いし、したところ

で何の意味も無いのだろう。

「なんで？」

だって、こうやって。

一人ぼっちで暗い部屋の中で必死に自己主張してる人間。

それに比較することで得た事実を教えられるような度胸、少なくとも

僕には無いのだから。

「そっか」

そうだよ。

「じゃあ、質問」

何？

「不安定にさせたい。そんな気持ちで絵を描く人。

呪いたい。そんな気持ちで歌を歌う人。

悲しませたい。そんな気持ちで小説を書く人。

そんな人はどうすればいいの？」

決まってるじゃないか。

君、よくそんな事を言うね。  
要するに。

『【「死ねばいいんだろっよ、死ねば」】』

「……………うえっ」

「あー、泣いた泣いた」

『また？』

【死んじゃえばいいのに】

ああああああああああああああああああああああ。

たくさん人が。

たくさん人が。

溢れて。

アフレテ。

五ぼれ落ちる。

「さよーなら」

(後書き)

……はい、イミフだったと思います。  
スイマセン。

意味わかると思って書いてません。  
スイマセン。

アレです、多重人格です。  
スイマセン。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2309/>

---

増殖脳内人間

2011年1月26日08時30分発行